

牛久市の廃食用油回収事業に協力します

株式会社カスミ(本社:茨城県つくば市、社長:小浜裕正)は、牛久市が推進する「牛久市バイオマスタウン構想」に賛同し、下記のとおり、牛久市内のカスミ4店舗から排出される廃食用油の循環利活用に協力いたします。

「牛久市バイオマスタウン構想」とは、バイオマス(生物由来の資源)を地域で循環利活用することにより、地域活性化と地球温暖化防止を目指すもので、カスミはこれに協力し、循環型社会構築と地球温暖化防止を推進いたします。

記

- ◆回収開始 2009年7月15日(水)より
- ◆回収店舗 牛久市内4店舗
ひたち野牛久店
フードスクエア牛久店
FOOD OFFストッカー牛久柏田店
FOOD OFFストッカー牛久ししこ店
- ◆回収方法・利用先 月2~3回程度、牛久市の回収車により回収。
回収された廃食用油は、牛久クリーンセンター(牛久市奥原町)内のバイオディーゼル燃料(BDF)製造施設にてBDFに加工され、市公用車やゴミ収集車などの燃料として利用されます。
- ◆回収量 上記4店舗から排出される廃食用油は約1,600ℓ(1ヶ月)で、これは約1,390ℓのBDFとして利用されます。この取り組みにより約3.5t(1ヶ月)のCO₂削減が見込まれます。(軽油1klあたりのCO₂排出量2.563t)

■BDFの活用について

カスミでは2006年度から、つくば市内の5店舗とカスミつくばセンター社員食堂から出る使用済みの植物性天ぷら油を回収し、「つくばライフサポートセンターみどりの」でBDFに加工、商品配送車の燃料として利用しています。

